

June 13, 1998 与那国島

そろそろ山を下りようかと進む道路脇で飛ぶモンシロチョウの黒色部がこころなしか変わって見えたととき、思わず与那国では春に台湾モンシロチョウが発生するとの『スーパー採集ガイド，新・八重山編』の記載を思い出す。6月という季節にもいるとは全く考えていなかっただけにネットインした台湾モンシロの新鮮体に感激。その後訪れた祖納や比川でも決して少なくない個体に出会う。



帰路立ち寄った例の水場で、追飛するリュウムラギをみる。ここで自転車のスタンドを思い切り蹴り上げて踏み出そうとしたときに、バネがゆるんで外れてしまうトラブルが発生。安定走行不能となりホンダモーターにもどる。自転車を交換してもらい、さて。あとどこへゆこうかと相談すると「比川でマサキルリマダラのぴかぴか新鮮体が採れた。ヤエムラもでていたよ」とのこと。道順を確認して初めての比川にむかう。あいかわらず長い急坂が多く汗まみれで自転車を押していく傍らを肩に大きなネットをかついだバイクの青年が「お先に」と明るく声をかけて追い越して行く。このあとホンダモーターで再会した際、マサキルリを採ったのはこの青年自身だったことを知らされる。長い起伏の坂道が続き、ようやく峠道となる左側叢で台湾モンシロが飛ぶ。新鮮体でないとわかればネットからそのまま逃がしてやる。峠から左手にきれいな道路が宇良部岳の方向に伸びているが今はまっすぐ進んで比川に向かう。